

令和 7 年 3 月

「超かんたん！生ごみコンポスト 2024～落ち葉堆肥で地域循環も楽しめる！～」アンケート結果まとめ

募集期間 令和 6 年 6 月～11 月

実施期間 令和 6 年 8 月～12 月

実施場所 各家庭

- 内 容 ・各家庭で発生する生ごみ（主に野菜くず）を基材（園芸土、腐葉土など）に埋め、堆肥化を体験、実感してもらい、生ごみコンポストへの心理的ハードルを下げる。
- ・継続のフォローとして、月 3 回の「コンポスト情報メール」を発信。（全 14 回）
- ・3 回のアンケート（申込時・中間時・終了時）に回答いただき、開始時と終了時の気持ちの変化を見る。（取組のハードルが下がったか、続けられそうか）
- ＊希望者には、京都市内の落ち葉でできた完熟堆肥を配布し、基材の一部として活用してもらい、地域内資源循環を実践してもらう。

アンケート設問 後添

【結果】

- 参加者数 20
 - アンケート回収数 第 1 回申込時 20（＝申込者数）
 第 2 回中間 17
 第 3 回終了時 17
 - 減量した生ごみ量 214 Kg （17 家族 取組期間 平均 3.9 カ月）
-

【成果と課題】

- 初参加の方が昨年より多かったが、終了アンケートからはコンポストのメリットを実感いただけた。
- ごみ減量だけでなく、生物多様性への理解なども深まり、環境教育の面でも有効である。
- 途中で中断してしまった方、気温低下で継続の難しさを感じた方もいたが、楽しかった、続けたいという前向きな声も多かった。
- 気温の低い季節のつづけにくさが、引き続き課題である。細かく刻むことは有効だが、手間との兼ね合い。
- 過去の参加者も含め、続けているのかを追い、継続しやすいヒントを見つけたい。

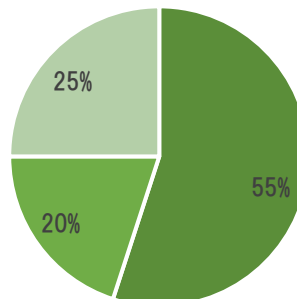
1 項目別アンケート回答の結果

(1) 開始時アンケート（回答数 20）

① たい肥化経験について

参加者の55%がはじめて。現在実践中、以前にチャレンジしたことがある参加者がほぼ同数だった。

堆肥化経験について



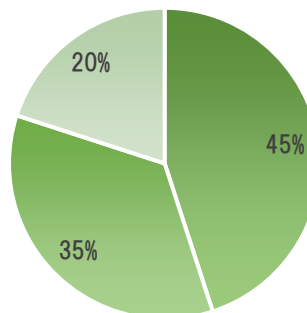
- 初めて
- 以前にチャレンジしたことがある(今はやめている)
- 現在実践中

② 参加の目的

「ガーデニングに活かしたい」という期待が半数弱を占めた。

次に、「燃やすごみを減らしたい」が続いた。

目的



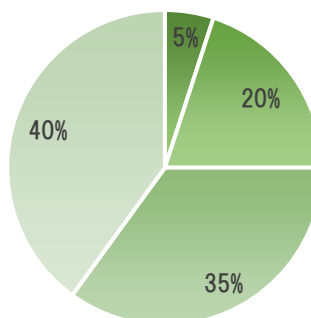
- 堆肥でガーデニングをしたい
- 燃やすごみを減らしたい
- とりあえずどんなものかやってみたい

③ 不安に思っていること

今年は初めての参加が多かったためか、「臭いの発生」と「虫の発生」への不安が75%を占めた。

経験者の課題で多くなる「続けられるかどうか」への不安は、20%とそれほど多くなかった。

不安なこと

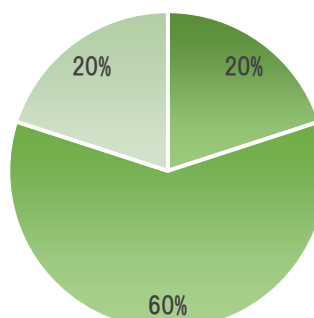


- 寒い季節の乗り越え方
- 続けられるかどうか
- 虫
- 臭い

④ 参加の意気込み

初めての方が多く、ちょっと不安という回答が60%となった。

意気込み



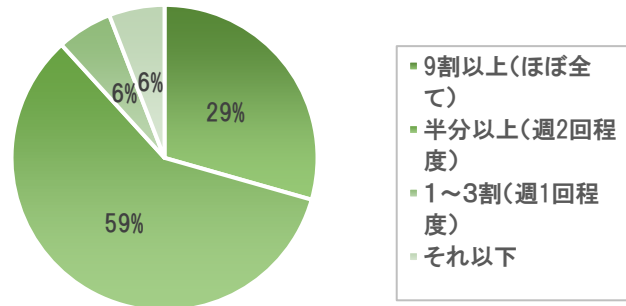
- がんばるぞ！
- ちょっと不安だけどがんばれるかな
- かなり不安。できるかな？

(2) 中間時アンケート（回答数 17）

⑤ 1週間で何割（何回）埋めているか

3名中断中だが、ほか17名は継続。
約8割が、週2回以上埋めており、
「9割以上/毎日」が5名あった。

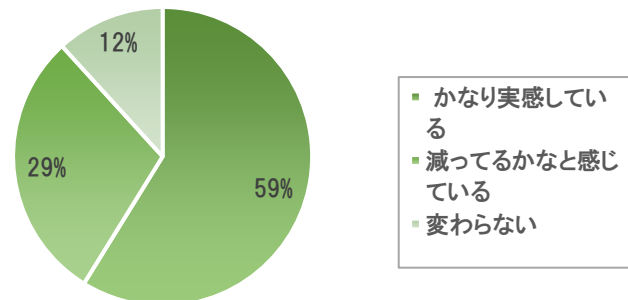
作業頻度・量／週



⑥ 燃やすごみが減っていると感じているか

9割弱が減ったことを実感。
約1割は変わらない・減っているとは感じないと回答。

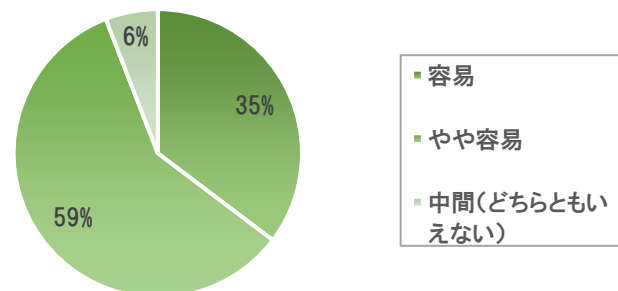
燃やすごみは減った？



⑦ 期間終了まで続けることについて

「やや容易」という回答が最も多く、「容易」と合わせて95%が継続できると回答。
どちらともいえないが、1名。

12月までの継続について

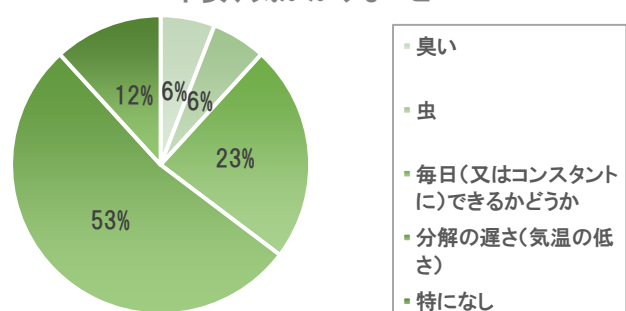


⑧ 不安や気がかりなこと

夏の分解の様子と比べて、違いを感じるためか「気温低下」への不安が5割を超えた。
経験者であっても、分解速度が鈍くなる季節の乗り越え方がコンポストのハードルとなる。

開始時の、「虫や臭い」への不安は、確実に減り、毎日（コンスタントに）できるかどうか2割強となった。

不安、気がかりなこと

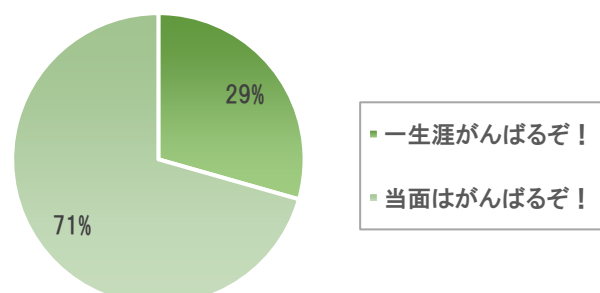


⑨ 後半への意気込み

「この取組を最後まで継続できそう」（7割）、
「一生涯がんばるぞ!」（3割弱）で、終了を選んだ人はゼロ。

事業への参加をきっかけに、ライフスタイルとして定着していく可能性を強く感じる。

後半に向けての意気込み



○参加者からの報告（中間時点） * 抜粋

困ったこと

- ・最近入れた何かの種が発芽して双葉が出て、かき混ぜてしばらく経つとまた同じように出てきてしまいます。黒のフェルトバッグに入れていて、日光は遮断されていると思うのですが。気温が下がってきたからなのか、種が分解されにくくなっているのかな、と思っています。
- ・ボカシコンポストを使っていますが寒さで分解が遅く、仕事の繁忙期も重なり土に埋める作業もできず容器がいっぱいになってしまったので中断しています。
- ・土の容量が少ないのと気温の低下で、生ごみを投入しても分解が遅くて大半の生ごみはごみになっています。
- ・生ごみが消えるのは楽しみです、家族の理解や虫対策など、それまでの障壁が高いかな？
- ・夏は庭に蚊が多くて埋めて混ぜるのが困難だった。
- ・前回投入したバナナの皮が分解せずに残るようになって、残念なことです。時間はかかるけど最終的には分解するから、夏同様投入していけばいいのかな。

良かったこと

【ごみ減量になった】

- ・夏場スイカの皮を埋めて分解していたのには感動を覚えました。毎年かさばっていたので。
- ・たまに腐らせてしまったもの、傷んでしまったものを捨てなくてもコンポストに入ればいいので、罪悪感が減ります。またごみ袋がワンサイズ小さくなること、家庭菜園の肥料になることも嬉しいです。
- ・中断してしまっただけ残念さもありますが、ごみの量の差を改めて実感しています。
- ・この 30 年ぐらいの間、燃えるごみに出すごみの量が非常に少なくなっている。

【その他】

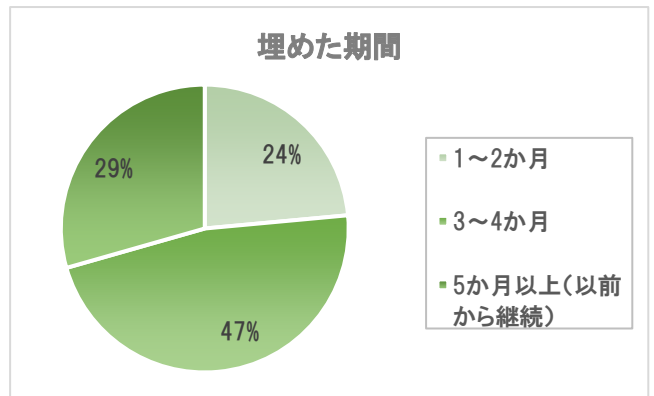
- ・埋めたカボチャの種から芽が出てカボチャができた 笑
 - ・ピーマンなど細かい種から発芽していたり、さつまいもの切れ端からも発芽していたり感嘆しきりです。
 - ・分解速度を上げる為、色々試しています。ベストはまだ見つかりません。
 - ・子どもたちが自分で食べた野菜や果物の皮がどうなるのか、興味を持つようになったのも嬉しいところです！
 - ・今年は虫の発生もなく、ノンストレスです。冬のお花を鉢植えする際、夏に熟成させていた堆肥を混ぜ込みます。冬の熟成は時間がかかるので、今頃にとりわけた堆肥を 3 月頃に使えたら、と堆肥活用のサイクルを考えながら楽しく続けています。
 - ・気温低下の対応として、ぬかを足すのも有効ですか？
 - ・庭の土が、よくいわれる団塊状の栄養豊富な黒々とした土になっている。掘るとミミズもよく出てくる。土質、特に酸性度と、窒素リン酸カリのバランスを測るにはどうしたらいいか考えているところです。
- うちの庭では化学薬品を使わないことで、土壌中の非常にマイクロな世界での多様性が豊かになっているのではと思います。

(3) 終了時アンケート (回答数 17)

⑩ 埋めた期間

初参加の方が多くいたにも関わらず、3～4か月続いた方が5割弱。

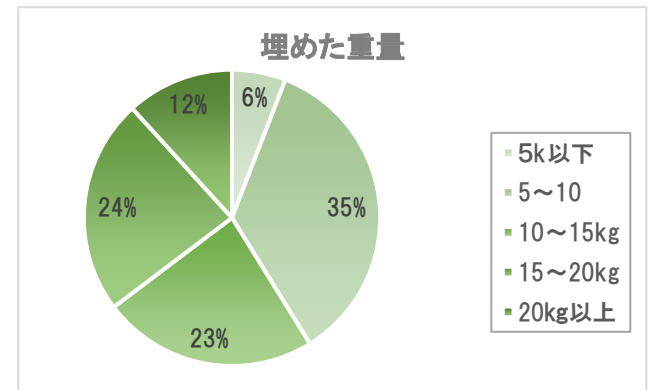
また、3割弱の方が5か月以上継続できた。



⑪ 埋めた重量

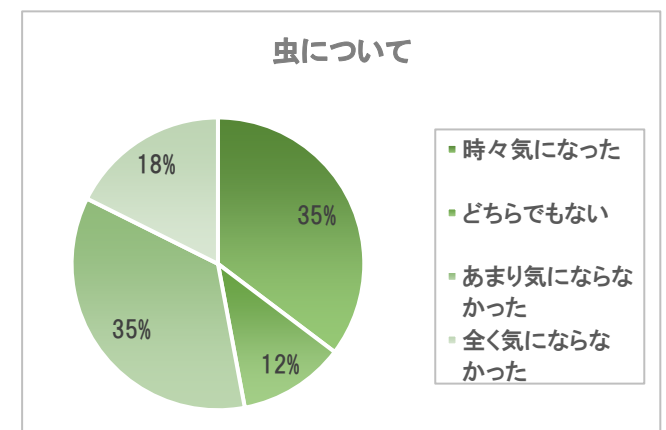
214Kg

* 一人あたり一日 80g 排出として、家族人数と取組日数などで算出してもらった申請重量。



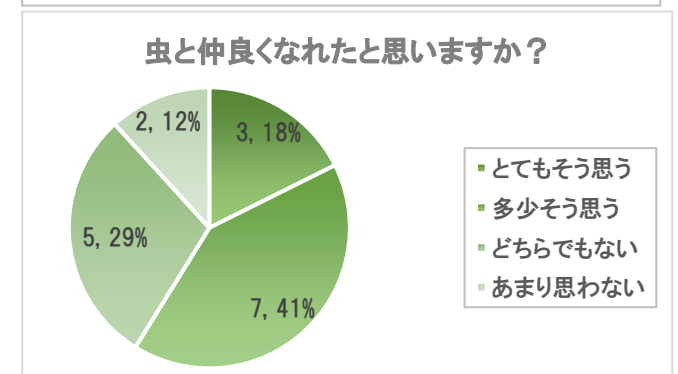
⑫ 虫が気になったか

全く気にならない、あまり気にならないの回答が5割強。
中間時点で虫への不安は薄れていたが、虫を無視できない方は一定数おられる。



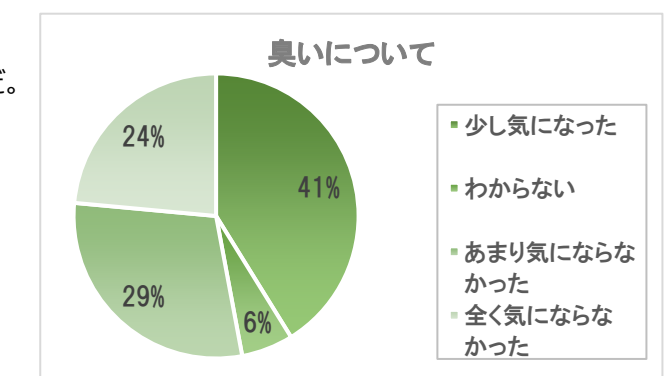
⑬ 虫を受け入れる気持ちになれたか

約8割の方は、受け入れる気持ちがあり、コンポストに取り組むことで、虫への抵抗感は少なくなるようだ。
生物多様性保全に、実感としてつながるうれしい。



⑭ 臭いは気になったか

半分以上の方が、あまり気にならなかった若しくは全くきにならなかったと回答をされた。
実践してみれば、臭いはコンポストのハードルではないようだ。



⑮ 皮や種まで食べることについて

今回やってみたり続けたい、の回答が 5 割。
コンポストを続けること以上に、有意義な回答。
コンポストを続けるためには、そもそも出す量を減らすことが大切であることを、意識しつつ、コンポストしてもらえると嬉しい。

⑯ コンポストを他の人に勧めること

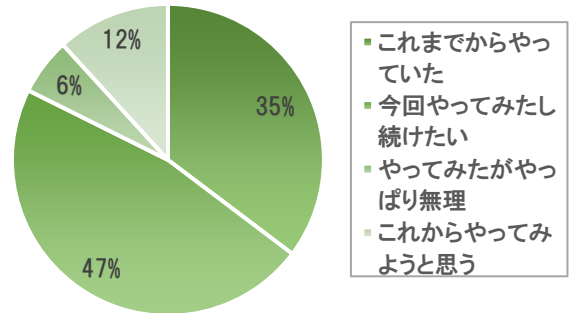
勧めたいとは思わない、わからないがそれぞれ 2 名
他 13 名の方が、コンポストに取り組むメリットを感じて
いただけた。

終了時アンケートでの感想（選択又は自由記述）

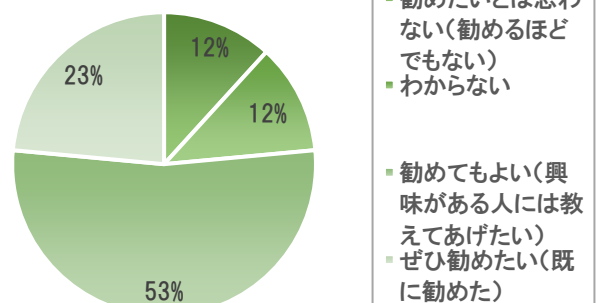
メリット

- ・ごみ出しの回数が減って、ごみ箱の臭いもマシになったのがうれしい
- ・経済的なメリットを感じた。
- ・ごみが軽くなって、ごみ出しが楽になった。
- ・循環や土の力を感じた。
- ・始めてやることなので少し抵抗はありましたが、何とかやりこなせたと思います。
- ・野菜を買いすぎて無駄にすることが減った。肥料もできてごみも減り一石二鳥。
- ・分解していくのを見ると嬉しい。冬はじっと我慢。
- ・コンポストはお茶殻ですが、皮なども全部食べる料理法を習い始めたため、ほぼ野菜くずは出ていままので半分ぐらいになった。
- ・ごみ捨ての回数が減ってごみ袋の枚数も減った
- ・飽きやすい、適当な私でもボンボン捨てることで続けられている
- ・生ごみや落ち葉ごみの量が減った、ごみ箱の生ごみ臭が減った
- ・ごみが減ってごみ出し回数が減った、循環や土の力を感じた
- ・ごみ出しの回数が格段に減った。ごみ袋も使う枚数が減り経済的・園芸や野菜の土を 30 年以上買っていない。
- ・生ごみはすぐに庭かコンポストに出すので家の中に生ごみがなくなり、虫や臭いの問題がなくなった・土中の微生物やミミズの力ってすごいと実感できた。さらに庭の落ち葉を焚き火用にとっておいたら真っ黒な土に変身、びっくりです。来年の目標は、今買っている骨粉や油粕など肥料もできるだけ自作できないか試す。草木灰は買わずに自作)
- ・大事に食べたり使ったりする気持ちがより高まった。献立を柔軟に考えられるようになった。

ヘタや皮の食べきりについて



人に勧めたいか



- ・いつも捨てていた小松菜などの根、水耕栽培すると葉が出た。それを循環土に植えてみたら、育ちました。感動。
- ・ごみが減って（購入する）ごみ袋のサイズが小さくなった。
- ・ガーデニングに活用できた。
- ・虫はもともと大好きだったが、微生物レベルのことも考えるようになった。循環の絵本「土は地球のたからもの」を時々読み直しています。良い本ですね！
- ・生ごみが減った・キッチンに生ごみを「ごみ出し」まで置かずにすむので臭くならない。
- ・古い土を活用できる・ごみ袋消費の減少・消費できなかった食料を捨てる罪悪感がなくなった
- ・これまでより可食部分が増えたので、生ごみの量が減った
- ・ごみ袋の購入が減った、りんごの皮が美味しいことがわかった
- ・ごみが減るのがよい

ハードル（参加者からの課題）

- ・旅行に行く時に混ぜられないのが難しい
- ・冬は工夫するより、時期を待って土を追加しておけばいいかな？くらいに捉えているので、ボケーッと続けています。
- ・忙しいとついごみに入れてしまいがちだった。狭い住宅地なのでおとなりに気を遣った。
- ・ここに書くのかどうか？庭の葉っぱなどの処理を燃やすごみに出していますが、もう少し努力できたら（葉っぱなどの入れておく場所の確保）土の改良などにも取り組みそうなんです…
- ・冬になるとあまり分解しないので、捨てる量も減ったところ
- ・あまり難しいとは感じなかった
- ・早く土にかえるよう皮などを刻んでいたのも、それが手間だった
- ・庭に埋めるのに比べ、コンポストの方にはミズが生息することはない。団粒もできない。ネキリムシだけはどこから入ってくるのか、時々見かける…。観葉植物を枯らしてしまって空いたプラ鉢を利用したくてコンポストとして使っていますが、深さがあるし、大根を育てた方がいいかなと思っています。
- ・日々処理していくには大きな箱が必要。スペースには限りがあり、隣同士が近いので野菜くずのみコンポストした。
- ・庭に置いているので、雨がずっと出られなく、土を混ぜられずカビができたこと。生ごみの量が多かったせいもあり。
- ・難しく考えることはないのですが、寒くなる季節いつ投入するのをストップしようかとずるずる迷いました。実験的に、ふたつのコンポストを作って、一つは年末に投入をやめ、もう一つは冬季も週に二度は入れて続けていました。（本当に全く分解しないのですね…！）
- ・難しく感じませんでした。いただくメールで詳しく書いてくださったので助かりました。
- ・コバエとニオイ
- ・冬場は変化が少なく、あまり手応えを感じられなかった
- ・コンポストの用意・始めるハードルが高いと感じる

感想

- ・寒くなって続けられるか心配でしたが、生ごみがだんだん減っていくのが面白いので継続できています。これからも続けていきたいです。
- ・虫の発生は初めて土を山から頂戴した際、みたことのない透明なのが多発して「！」となった。匂いが気になったら、酸素を混ぜるように意識し入れ物をとにかくフリフリするようにした。
- ・まずはやり切れました。

- ・たのしかったのでこれからもつづけたい
- ・参加させていただきありがとうございました。引き続き続けたいと思っています。
- ・今回の取り組みが、以前から気になっていたコンポストを始めてみるキッカケになった。ごみの量も減らせるし、環境にも経済的にもメリットがあるので、機会があれば周りにも勧めているし、今後も勧めたいと思う。
- ・ごみを減らせたこと、生ごみがガーデニングに使える楽しみがあり良かった。
- ・庭や鉢で堆肥造りをするようになって 30 年以上ですが、もったいない意識が波及しています。野菜洗いなど流しで石鹸を使わない洗い物をする時は、バケツにその水を溜めて水やりに使う、流しの排水口のネットは買わずにパンティストッキングを使う(1 足で 6 つ作れます)ーごみクズがよく取れますが電線や穴があるところは避ける。パサパサになったタオルや綿の下着類を小さく切って台所などの汚れ拭きに使っているのでキッチンペーパーはほとんど使わない、など。また、堆肥にはできませんがプラごみもいろんな工夫で少しでも減らそうという意識が強くなりました。皆さんのアンケートでもそれぞれ波及効果が見られる様子で、アンケート結果の掲載も情報交換の効果があると思います。
- ・参加賞を工夫してくださり感謝！スクレーパーを初めて使う人に一言。フライパンや鍋からこそげ取ったカスはれっきとした堆肥の材料です。
- ・コンポスト容器として勧められている入れ物ですが、値段が高いし、プラスチック。土に触れているのでマイクロプラ発生の恐れが大きいです。
- ・燃えるごみの回収場所が家の目の前にあり、散らかったごみを片付けることも多く、その捨て方にショックを受けます。皆が分別やもったいない意識を持てるといいな。
- ・硬い土がホコホコの循環土になるのは、楽しみでした。
- ・良いことづくしのコンポストで、苦痛などなく楽しく行っていましたので継続します。最初はプランター1 つから始めましたが今はプランター3 つでやっています。いままで生ごみで捨てていた時はすぐに臭くなってましたが、コンポストだとそれがありません。プランターはサッシ開けてすぐの場所においているので移動距離もなくラクです。分解していくのも楽しいです。続けます。有難うございました。
- ・簡単なようで、続けることはなかなか難しい。
- ・楽しかったし、これからもつづけたい。暖かくなったら植物の肥料に移行させていく予定。それも楽しみに。
- ・初めて取り組んだので有意義でした。

【参考】過去の集計結果(数値のみ)

「超かんたん！生ごみコンポスト 2023」

- アンケート回収数 第 1 回申込時 11 (= 申込者数)
 第 2 回中間 9
 第 3 回終了時 9
- メール発信回数 13 回
- 減量した生ごみ量 119 Kg (9 家族 取組期間 平均 3.9 カ月)

「落ち葉たい肥で超かんたん！生ごみコンポスト 2022」

- アンケート回収数 第 1 回申込時 13 (= 申込家族数)
 第 2 回約 2 か月取組後 13
 第 3 回終了時 12 (= 全 3 回回答者数)
- メール発信回数 16 回
- 減量した生ごみ量 139.5Kg(9 家族 平均 3.8 か月)

「落ち葉たい肥で超かんたん！生ごみコンポスト 2021」

- アンケート回収数 第 1 回申込時 76 (= 申込家族数)
 第 2 回約 2 か月取組後 64
 第 3 回終了時 46 (= 全 3 回回答者数)
- メール発信回数 19 回
- 減量した生ごみ量 349.7Kg(76 家族 平均 3 か月)

「落ち葉たい肥で超かんたん！生ごみコンポスト 2020 年」

- アンケート回答 33(3 回とも回答した数)
- 取組期間 5 か月 12 名, ~4 か月 10 名, 無記入 11 名
- メール発信回数 16 回
- 減量した量 487.2Kg(22 家族 平均 4 か月)

(参考) アンケート設問

第 1 回 (開始時) アンケート設問

■コンポストの方法 (複数利用の方はメインのもの)

段ボール

空きプランター

キエーロ

LFC コンポスト

ダスクリンくるくる

自然にカエル

みみずコンポスト

竹パウダー、竹チップコンポスト

庭に埋める

方法を検討中

その他

■ 2つ以上の方法でされている方は、上記の方法以外の方法を教えてください（いくつでも）

段ボール

空きプランター

キエーロ

LFC コンポスト

ダスクリンくるくる

自然にカエル

みみずコンポスト

竹パウダー、竹チップコンポスト

庭に埋める

1つの方法のみで実践中

その他

■ 生ごみのたい肥化は初めてですか？

初めて

以前にチャレンジしたことがある（今はやめている）

現在実践中

■ 生ごみコンポストへの期待

たい肥でガーデニングをしたい

燃やすごみを減らしたい（たい肥はあまり使う予定がない）

とりあえずどんなものかやってみたい

特になし

■ 一番不安や気がかりなことは？

臭い

虫

続けられるかどうか

寒い季節の乗り越え方

■ 生ごみコンポストへの意気込みを教えてください

がんばるぞ！

ちょっと不安だけどがんばれるかな

かなり不安。できるかな？

特になし

■京都市ごみ減量推進会議からのメルマガ案内（情報やイベント等のお知らせ。週 1 回程度の不定期発行）について

送信を希望する

送信を希望しない

既に登録済み

※生ごみコンポスト取組期間中の情報メールとは別のご案内です。

■お問合せ・ご質問など

第 2 回目（中間）アンケート設問

■ 1 週間で何回埋めていますか？（又は調理くずを何割埋めていますか？）

9 割以上（ほぼ全て）

半分以上（週 2 回程度）

1 ～ 3 割（週 1 回程度）

それ以下

中断中

■ 生ごみが減って、燃やすごみの量が減ったと実感していますか？

かなり実感している

減ってるかなと感じている

変わらない

減っているとは感じない

全く減っていると感じない

■ 12 月まで続けることについて、どのような状況ですか？

容易

やや容易

中間（どちらともいえない）

やや困難

困難

■ 続けていく上で、不安や気がかりなことは？

臭い

虫

毎日（又はコンスタントに）できるかどうか

分解の遅さ（気温の低さ）

特になし

■後半に向けての意気込み

一生涯がんばるぞ！

当面はがんばるぞ！

これが終わったら一旦終了かな

今すぐにでも止めたい

中断中

■これが困った！（止めようかな〜）と思ったこと（自由記述）

■これが良かった！（続けたい！他の人にも勧めたい！）と思ったこと（自由記述）

第3回目（終了時）アンケート設問

■コンポストした期間（8月～12月の間の今回の参加の中で）

1回だけ～1週間未満

1週間～1ヶ月未満

1～2ヶ月

3～4ヶ月

5ヶ月以上（以前から継続）

■期間中に減らした燃やすごみの重量を教えてください（1人1日あたりの調理くず80gとして計算してください）。

例）毎日なら $80\text{g} \times \text{取組日数} \times \text{同居人数} = \text{減らした生ごみ量}$ 。

⇒ $80\text{g} \times 150 \text{日（5カ月）} = 12\text{Kg}$

3人家族なら $12\text{kg} \times 3 = 36\text{Kg}$

・週半分なら $40\text{g} \times \text{取組日数} \times \text{家族数}$ 。

・週1回程度なら $12\text{g} \times \text{日数} \times \text{家族数}$ 。

■虫の発生が気になりましたか？

毎日（毎回）気になった

時々気になった

どちらでもない

あまり気にならなかった

全く気にならなかった

■始める前より、虫と仲良くなれた（虫が居てもまあいいか）と感じますか？

とてもそう思う

多少そう思う

どちらでもない

あまり思わない

全く思わない

■臭いは気になりましたか

とても気になった

少し気になった

わからない

あまり気にならなかった

全く気にならなかった

■生ごみの量を減らすために、これまで食べていなかった皮やへたや種などをできるだけ食べるようなチャレンジを試みましたか？

これまでからやっていた

今回やってみたし続けたい

やってみたがやっぱり無理

これからやってみようと思う

やっていないし興味がわからない

やってみたくない

■生ごみコンポストをしてみて、メリットと感ずることを記入してください。下から選んでいただいても結構です（いくつでも）

- ・ごみの嵩が減って、ごみ出しの回数が減った（週 2 回から週 1 回など）。
- ・ごみが減って（購入する）ごみ袋のサイズが小さくなった。
- ・これまで食べていなかった部分（皮、へたの近く、種など）も食べるようになった。
- ・経済的なメリットを感じた。
- ・食べ物に感謝するようになった。
- ・ごみが軽くなって、ごみ出しが楽になった。
- ・ガーデニングに活用できた。
- ・循環や土の力を感じた。

■生ごみコンポストをしてみて、ここは難しい（課題である）、続けることが難しいと感じた点を教えてください

■生ごみコンポストを他の人に勧めたいと思いますか？

勧められない（勧めたくない）

勧めたいとは思わない（勧めるほどでもない）

わからない

勧めてもよい（興味がある人には教えてあげたい）

ぜひ勧めたい（既に勧めた）

■今回の取組について、感想をお聞かせください（自由記述）

以上